

「ご霊水と共に」

発行 法華寺
No.32
2026.1
河南町加納 247
☎0721933023

まいてら法華寺

検索

寄り添いの寺 法華寺

検索

明けましておめでどうござります

『万民一同に、南無妙法蓮華經と唱えたまつらば、(中略)「現世安穩」の証文、疑いあるべからざるものなり』これは、大聖人が数々の法難や迫害を受けられたことよって、より信仰を深められたことを示した著述のひとつである「如説修行抄」の一文です。(『ご妙判』)

この意味は「世の人々が、心から法華經を信仰し、お題目を唱えれば、この世は安穩であること疑いなし」です。『現世安穩(この世の安心・穏やかさ)』とは、決して苦が無いことではありません。苦樂は裏表一体です。法華經の信仰により、苦の中に、成長の喜びや悟りの種を見出すことができるのです。このように、全ての生き物、全て人々地が悟りの道へと進むことができる教えが法華經の真髓です。

新年があげました。時代は激動の時代となっています。今の社会の困難が、次の世代の悟りの種となることを願っております。



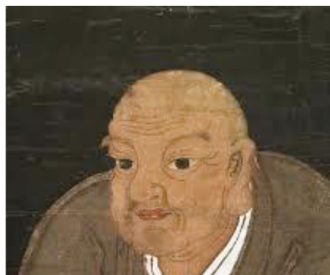
『ご妙判』とは

みょうはん

宗祖、日蓮大聖人は、多くの著作だけでなく、相当な数の書簡(手紙・書状)を遺しておられます。それを『ご妙判(ごみょうはん)』と言います。これは、「法華經の教えの妙義(すぐれた意義)を正しく判断するための指針」という意味です。

この「ご妙判」は、「日蓮大聖人のお心」を感じ取るために法要や法事の際に、読經の前後にお唱えしますが、数々の書籍や宗教資料でも読むことができます。

その内容は、法華經の解説や信仰のあり方だけでなく、「わが子を無くした母親へのいたわり」や「信者の困りごとへのアドバイス」「法華經を信じることの功德」など、送り主の弟子や信者への愛情にあふれています。



三十番神堂では

毎年十一月、當山の番神堂では、「七五三」の御祈禱を数件承ります。檀信徒さまだけではなく、ネットやロコミで、依頼される方もおられます。その他「お宮参り」や「安産祈願」も御祈禱しております。

親の想い、祖父母の想い、いつの時代でも、子孫の成長を願う気持ちは尊いものです。番神堂には、「全国各地の神様(三十番神)」「女性や子供の守護、法華經信者の守護を誓った鬼子母神」「自然界からの守護として、日・月・星の三光天子」など、各諸尊が鎮座されています。

また、毎年、初詣その他で、番神堂に参詣して守護を願われますが、その際「三十番神おみくじ」で、導きを願う方も少なくありません。

ご尊像の開帳は、正月三ヶ日、四月開山忌、八月施餓鬼法要、十月御会式ですが、個々のご祈祷の際も開帳しております。

